

## おおい 自然園

### セイヨウミツバチ

No.128

2月になり、梅の花が咲き出すと、野山は少しずつ春めいてきます。ほとんどの人は気付きませんが、晴れて暖かい日であれば、梅の花に小さな昆虫たちが次々と飛来します。

今回紹介するセイヨウミツバチはその筆頭で、働きバチがせっせと花の蜜と花粉を集めます。花粉は幼虫の餌になるもので、後脚にある特殊な毛に団子のようにため込みます。ミツバチは秋の間に巣にため込んだ食料（ハチミツ）があるため、昆虫では珍しく家族で越冬ができ、体が温まればすぐに活動できます。大井町には在来種のニホンミツバチも見られ、しばしば両種が同じ場所で見られます。両種の正確な区別にはルーペで羽を見る必要がありますが、一般にセイヨウミツバチの方が明るい色をしています。



▲アブラナに来たセイヨウミツバチ

神奈川県立生命の星・地球博物館学芸員 渡辺恭平

#### 【おおい自然園 HP】



や探検や自然観察の結果を掲載しています。

▲大井町自然史会

#### 【自然NOWへの投稿】



自然の身近な情報をお待ちしています。

▲町内

※撮影は横位置で。